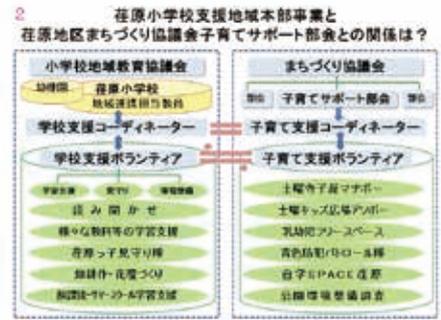


育てよう ふるさと愛する荏原っ子 地域ぐるみで学校支援

岡山県井原市	● 活動名	● 関係する学校名
	荏原小学校支援地域本部 (地域学校協働本部)	井原市立荏原小学校

開始年度	平成 26 年度	学級数	8 学級	児童・生徒数	109 人
活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援活動 <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 子供の安全確保 <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事等の支援 <input type="checkbox"/> その他 ()				
統括的な地域学校協働活動推進員の数	配置人数 0 人	地域学校協働活動推進員の数	配置人数 2 人	連携団体・企業等	
ボランティアの数	登録人数 99 人	属性	PTA役員、元教員、地域住民		
参考 URL					

● 体制図



● 連絡先 井原市立荏原小学校 ☎ 0866-63-0008

● 活動の概要・経緯
荏原地区は昭和 33 年から始められた各地区の子ども会活動が現在も継続して行われており、古くから地域を挙げて子育てを行うという土壌が醸成されている。平成 26 年度より学校支援地域本部が本格的に立ち上げられ、地域コーディネーターが学校と地域を結びつけ、学習支援・見守り・環境整備等の活動を行い、学校を支援している。また、学校支援地域本部はまちづくり協議会「子育てサポート部会」とも連携をとりながら、幼児から小中学生までの子育て事業を行い、子育てのしやすい地域づくりに取り組んでいる。

● 活動の特徴・工夫

- 【特徴的な活動内容】**
- 学習支援では、読み聞かせや、2・3年生放課後算数教室、スキルアップタイム、サマースクール、土曜寺子屋マナポーを行い、学力向上の支援に当たっている。また、ふるさと学習（総合的な学習の時間・生活科）では、荏原地区の文化・歴史・産業・自然を素材に、1年生「昔遊び」2年生「野菜作り」3年生「早雲蜜芋」4年生「環境学習」「荏原のために尽くしている人々」5年生「高齢者とのふれあい」6年生「伝統を受け継ごう」の学習支援を行っている。全校の行事では「早雲蜜芋の栽培」「早雲踊り」等の学習を支援している。その他にも様々な教科等の学習支援を行っている。
 - 環境整備では、畑耕作・花壇づくり等を行い、校内環境の整備の支援に当たっている。
 - 見守り活動では、青色防犯パトロール隊と共に登下校の見守り・交通教室の支援・参観日の児童の託児サポート等を行っている。
- 【実施にあたっての工夫】**
- 年1～2回「荏原っ子きょう育ネットワーク懇談会」を行い、地区研修会を行っている。その会には、地域ボランティアを中心に、学校・園の教職員、PTA、放課後児童クラブ、子ども会役員、まちづくり協議会のメンバー等が集い、「地域で子供を育てる」という思いを共有しながら、荏原の子供たちのためにできることを出し合い、実践に結びつけている。また、この会を進めていく中で諸団体の横のつながりをさらに強め、荏原地区の活性化につなげたいと考えている。
 - 年3回のボランティア便りを全戸配付し、活動内容を地域住民に周知するようにしている。
 - 小学校にボランティアルームを整備し、地域コーディネーターや地域ボランティアの活動拠点としている。

● 事業を実施しての効果・成果

- 読み聞かせ、スキルアップ等の国語・算数を中心とした学習の支援を行うことで、基礎学力が定着し、学習意欲や学力の向上につながっている。
- ふるさと学習に地域のボランティアが関わり学習を進めることで、ふるさと荏原を知り、地域を愛する心が育ってきている。
- 児童と地域ボランティアとの信頼と感謝の気持ちが深まり、挨拶や交流も親密さを増している。
- 地域の方の参加が多く、地域の子供を支える環境が醸成され、地域が学校の応援団になっている。
- ボランティア登録者数は現在 99 名にのぼり、その稼働率はほぼ 100%である。今後はボランティアの新たな分野の開拓や若手の発掘を進めたい。



第5学年 総合的な学習の時間
「環境学習（小田川）」



水曜日のスキルアップ

ポイント

地域と学校が熟議により「目指す子供像」を共有しています。子供や学校に関わることで、諸団体の横のつながりができており、学校応援団になっていますね。活動拠点のボランティアルームの役割も大きいですね。